

今後も町発展に尽くしたい

中泊町善行・功労者表彰式



平成27年度 中泊町 善行・功労者表彰式

公共の福祉の増進に貢献した人や町民の模範となるべき人を表彰する町善行・功労者表彰式が、11月26日(木)パルナスで行われました。

表彰式には受賞した2団体13人中、2団体11人が参加し、小野町長から賞状と記念品が手渡されました。

受賞者を代表し、佐藤イネ子さんが「身の引き締まる思い。今後とも町発展のため最善を尽くしていきたい」と謝辞を述べました。

■受賞者

町議会議員(15年以上)…兵庫桂蔵(派立下)

町農業委員(15年以上)…鈴木誠一(若宮)、葛西徳男(新町2)

町民生委員児童委員(20年以上)…工藤トミ子(上町)

町行政連絡員(20年以上)…米谷セツ(派立中)、永坂幸男(下前浜)

町保健協力員(20年以上)…笹山和子(若葉町)、山田よし子(派立)、藪田規子(下前上)、佐藤眞砂子(下前中)、赤石さと代(下前上)、川山真樹子(温泉町)

団体ボランティア活動(20年以上)…中里三味線会(代表・大川幸勝)、齋勝建設(社長・齋藤彰浩)

さあ、みんなでかたるべし!

小泊・中里地域でかたるべし開催

いつまでも住み慣れた地域で暮らしていくために、かたりの場を設けようと、町で11月12日(木)に日本海漁火センター、11月26日(木)に中央公民館で第2回みんなで「かたるべし」中泊が行われ、合わせて約70人が参加しました。

中里地域には町と提携している明の星短期大学から3人の生徒が参加しました。

参加者らは、6人程度のグループをつくり、「10年後の中泊町の将来像『だれもが互いに支えあいいきいき暮らせる町』『心身ともに健やかに生涯安心して暮らせる町』の実現に向けて」をテーマに話し合い、それらをまとめて発表しました。話し合いは、沢山の意見がでるなど、終始活発に行われ、休憩時間にも話していました。

参加者らは「自分が思いつかないような考えも聞くことができ、参考になった。」と振り返っていました。



小泊会場の様子



中里会場の様子

稽古の成果をぶつけ合う

第22回新潟精弥杯争奪剣道大会

合併10周年記念として11月28日(土)、中里中学校体育館に神奈川県警察の松原治氏を招いて講話や稽古会を行い、津軽地区の中学生ら約60人が参加しました。

講話は「選択」をテーマに剣道を選んだ経緯と試合や稽古をする上での技の選択の仕方について話され、生徒たちは真剣な表情で聞いていました。

稽古会では、松原氏のわかりやすい説明や指導を受けながら大きな声を出して稽古に励みました。

翌日の29日(日)には、新潟精弥杯争奪剣道大会が体育センターで開催されました。大会には、西北五や弘前市地区から小・中学生が参加しました。

開会式では、応援に駆け付けた小野町長が「この大会は伝統ある大会です。新潟精弥先生が伝えようとした精神を思い浮かべ、日頃の練習の成果を十二分に発揮してください」と激励しました。

外崎隼也(中里中)くんの選手宣誓の後、個人・団体の試合が行われ、選手たちは、稽古の成果を出そうと声を出しながら、勝負に挑みました。

■町内選手の結果

団体中学男子3位：中里中・金木中・鶴田中合同



選手宣誓する外崎隼也くん



松原氏から稽古を受ける生徒たち

より津軽鉄道を盛り上げたい

ストーブ列車
点火祭2015

冬の訪れを告げるストーブ列車の運行に合わせ、津軽鉄道サポーターズクラブが11月29日(日)、津軽中里駅の駅ナカにぎわい空間でストーブ列車の点火祭を行い、関係者をはじめストーブ列車のファンら100人が来場しました。

新幹線対策やサポーターズクラブの活動報告の後、中泊メバル料理推進協議会からメバルの煮付けとじゃっぱ汁の振る舞いが行われました。とても好評でおかわりする人もたくさんいました。



大好評の振る舞い



ストーブ賞に選ばれた中村洋幸さん

その後、応援に駆け付けた、町イメージキャラクターの米ケルと津軽鉄道のイメージキャラクターのつてっちーが登場し会場を盛り上げました。

最後に、サポーターズクラブからストーブ賞が発表され、受賞されたサポーターズクラブ関東支部の中村洋幸さん(東京都)に表彰状がわたされました。中村さんは「とてもうれしい。これからはこの津軽中里駅に来て、津軽鉄道を盛り上げていきたい」と笑顔で話していました。